



氣

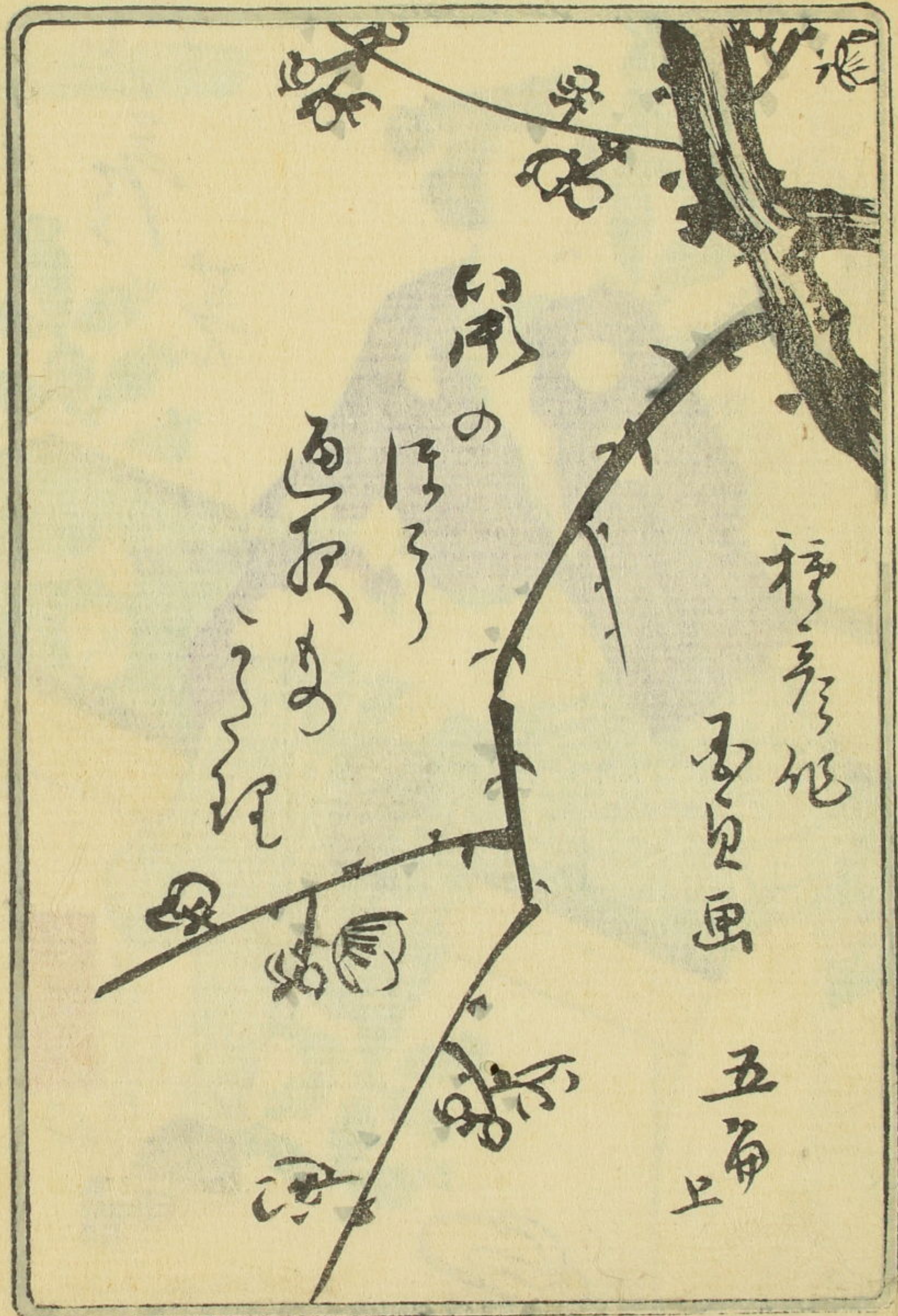
西

福之
著

五編上



門へ13
 號3697
 卷 5



一

素二入 緇一人 瓊を環繞指を嘗てる画を孔子と老子釋迦
 の酢吸の圖と俗に稱し甘しといふが辛しといふ酸しと云て其味嘗ら
 人として異とせしと儒佛道家の三教を譬へり此の金山寺の佛印と
 東坡山谷の三人の桃花醋を羨せし故事を諷する其の意もかくし
 草冊子を愛し中よみ或はこれをも見女の教訓をまきけりも欠伸の如
 中表紙に奇麗で手軽く家裏に好む人の意なきあぐりあれど
 繪の賞翫せしむる外に桃の節供を俟あむる玻璃壺の白酒を
 嘗らむとの幼女達も金山寺の甘口で美知せぬ今此睿敏愚心作
 りど酸の利うぬ書振とて眉を擡めしむる

慶應四年献春

柳亭種彦



境木
融次郎妹
笛竹

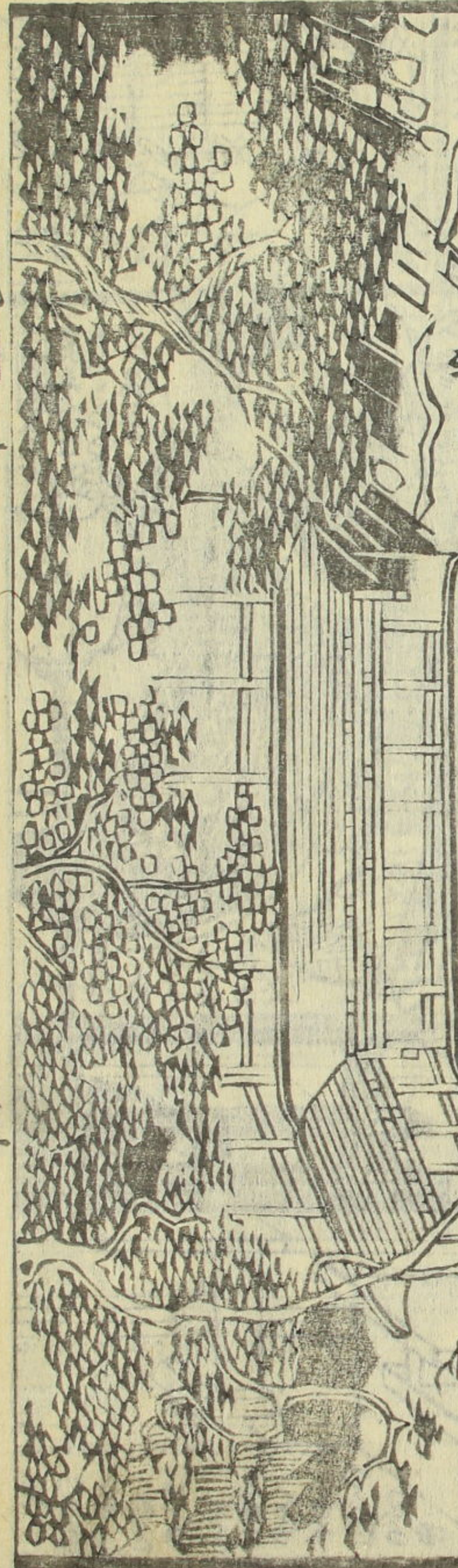


山邊准三位
休登母加身

歸福五

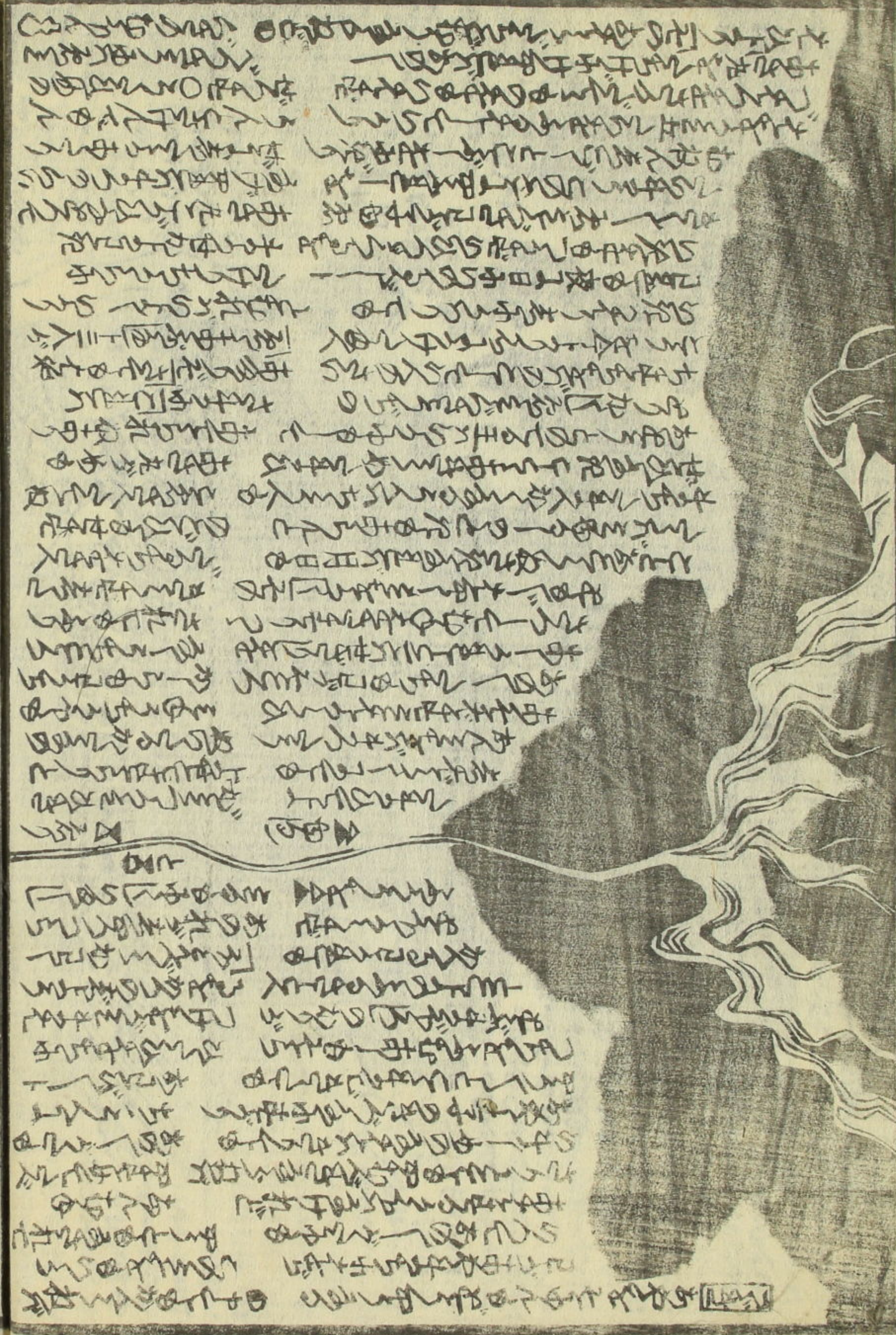


17



Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines, filling the right half of the page. The script is dense and difficult to decipher without a key.

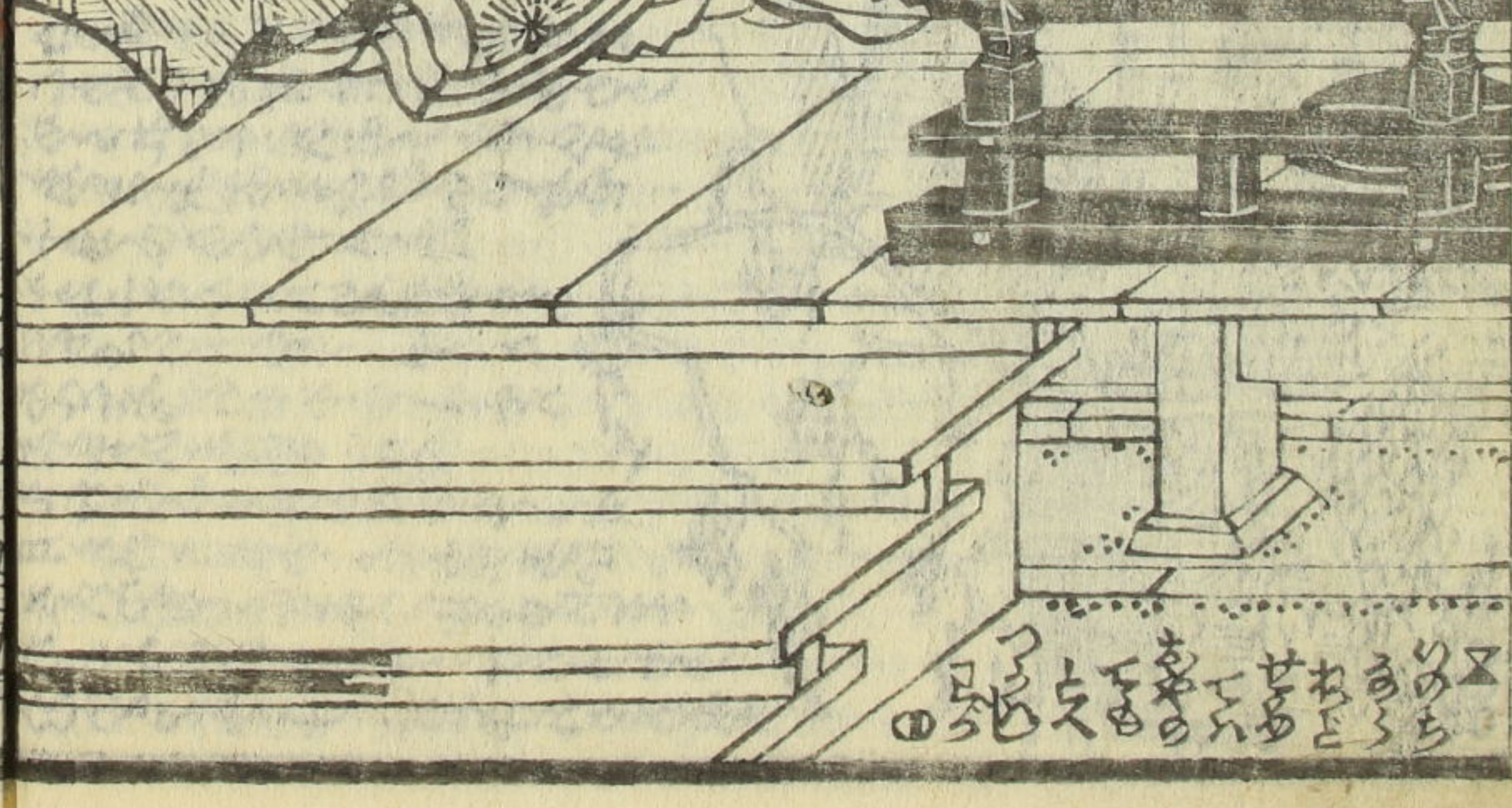
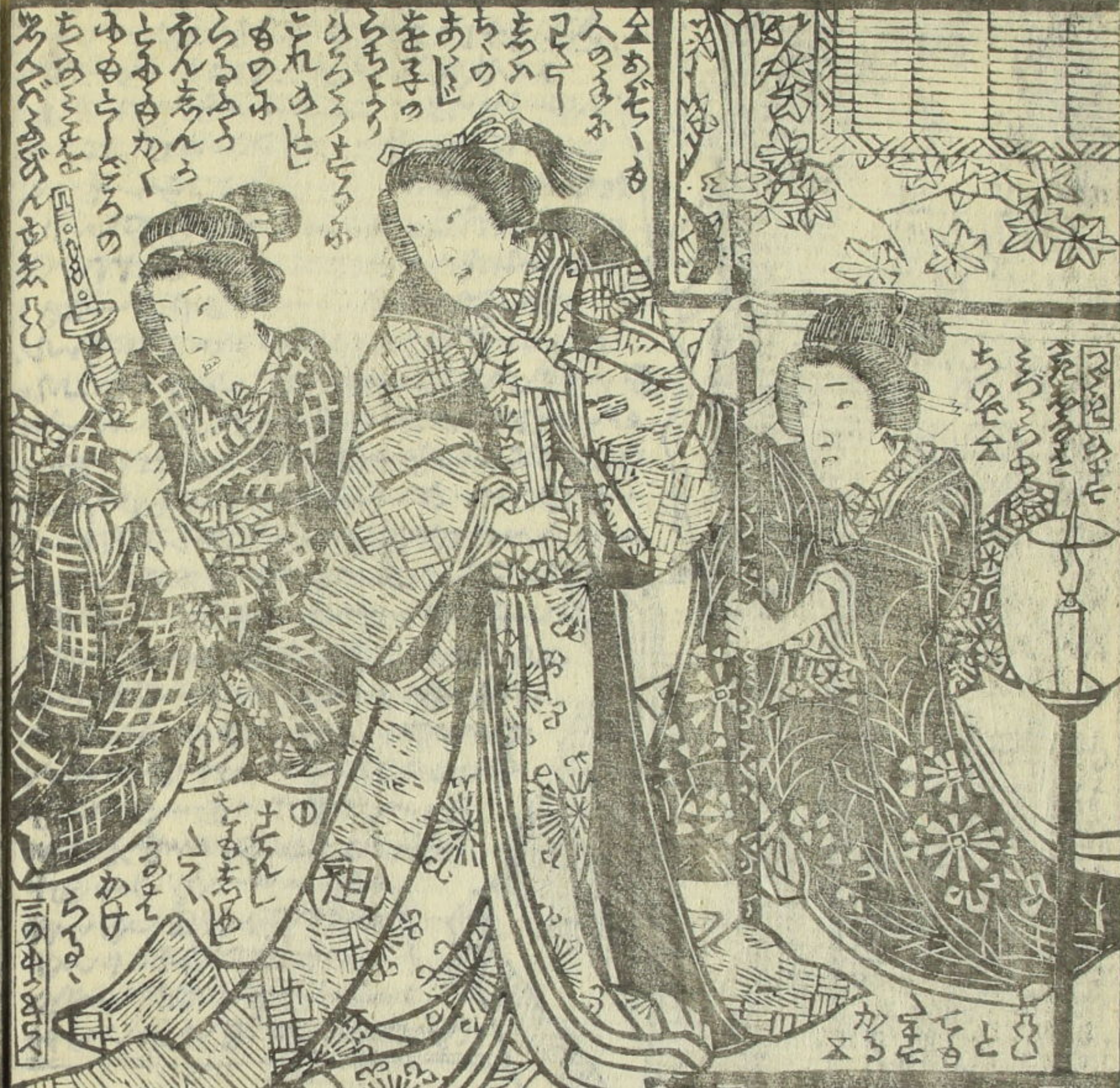
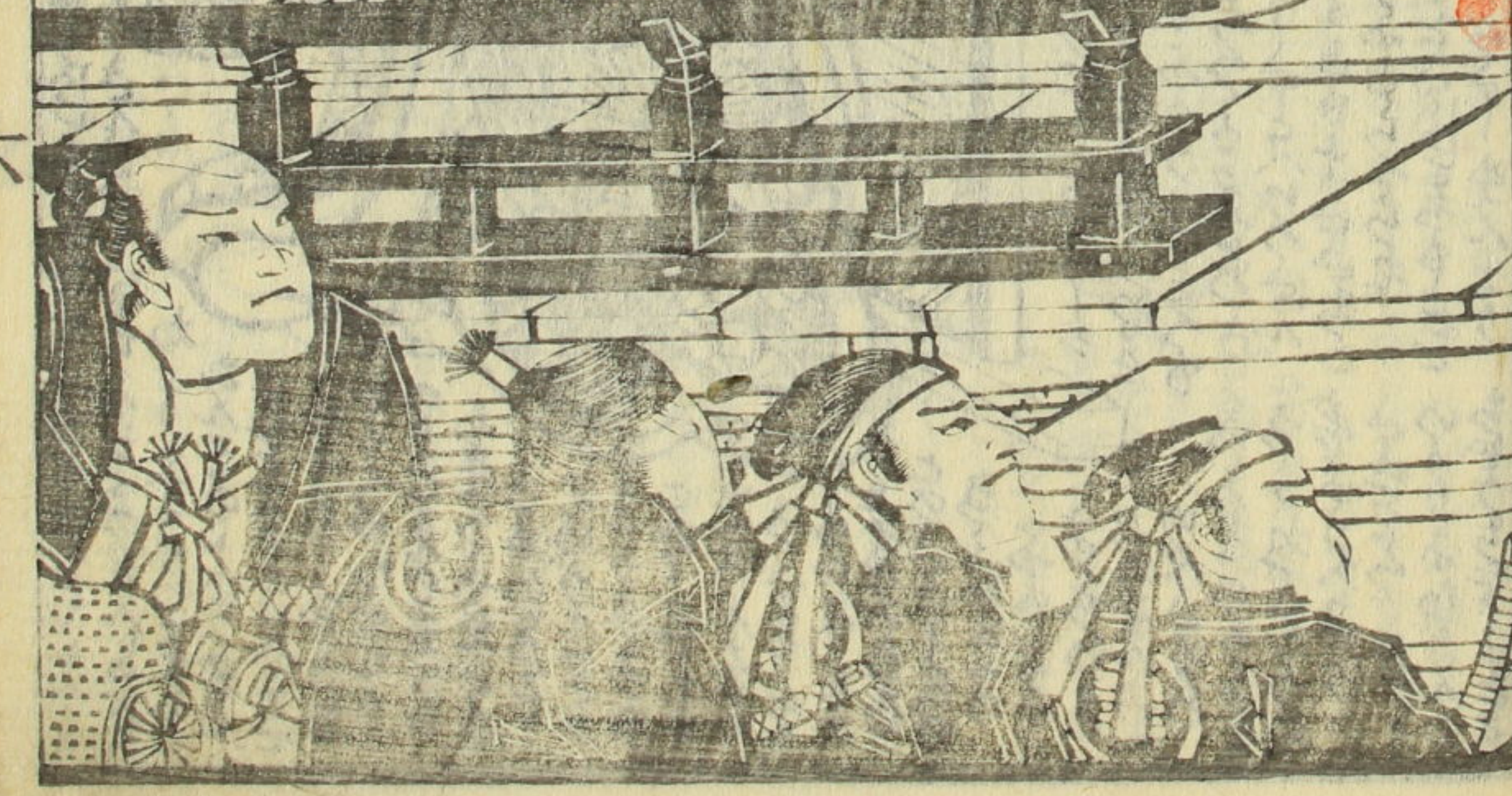
18



Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It is arranged in approximately 15 horizontal lines. The script is consistent with the text on the left page.

19

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It is arranged in approximately 15 horizontal lines. The script is consistent with the text on the left page.



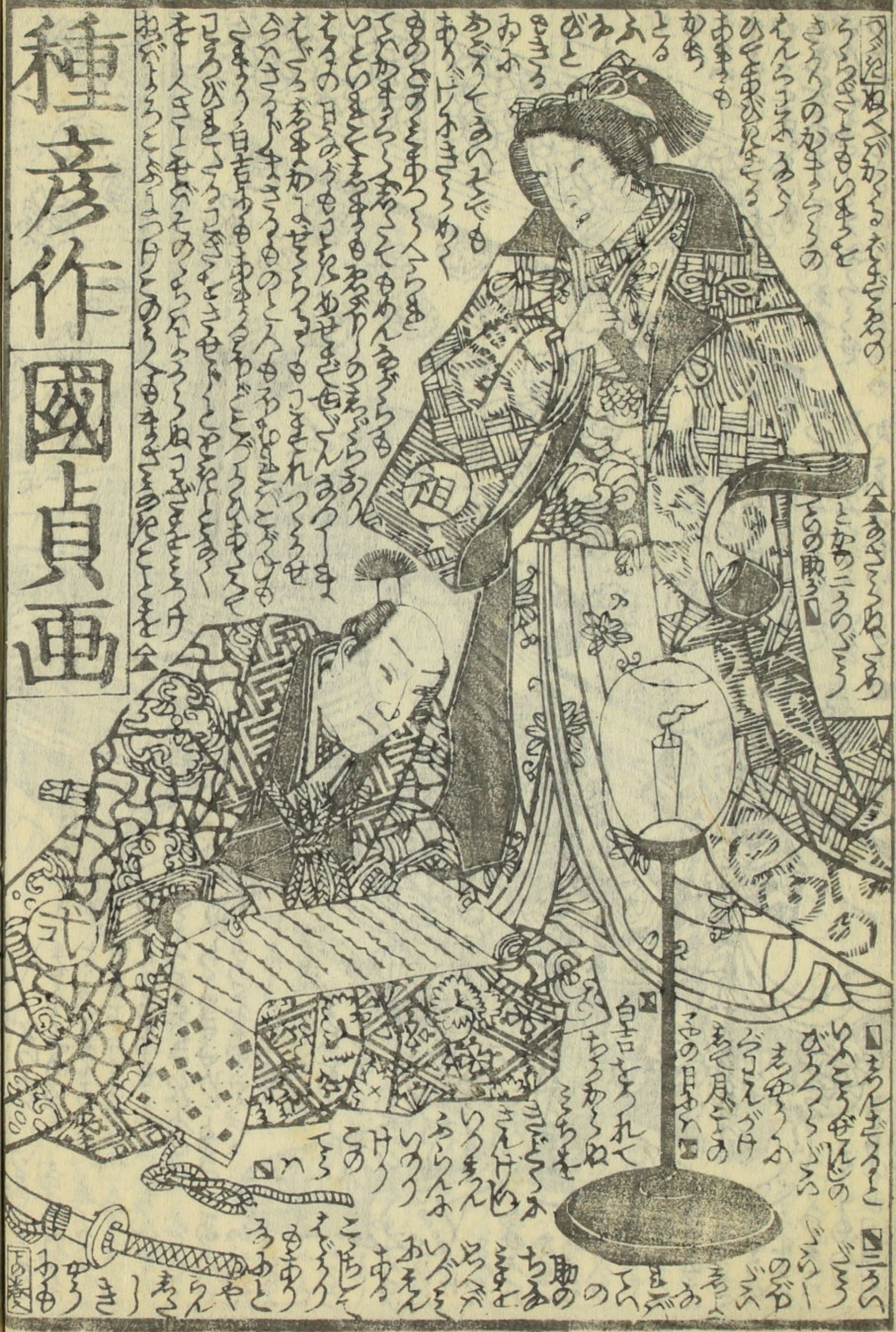




此の如く
 一ノ
 二ノ
 三ノ
 四ノ
 五ノ
 六ノ
 七ノ
 八ノ
 九ノ
 十ノ
 十一ノ
 十二ノ
 十三ノ
 十四ノ
 十五ノ
 十六ノ
 十七ノ
 十八ノ
 十九ノ
 二十ノ
 二十一ノ
 二十二ノ
 二十三ノ
 二十四ノ
 二十五ノ
 二十六ノ
 二十七ノ
 二十八ノ
 二十九ノ
 三十ノ
 三十一ノ
 三十二ノ
 三十三ノ
 三十四ノ
 三十五ノ
 三十六ノ
 三十七ノ
 三十八ノ
 三十九ノ
 四十ノ
 四十一ノ
 四十二ノ
 四十三ノ
 四十四ノ
 四十五ノ
 四十六ノ
 四十七ノ
 四十八ノ
 四十九ノ
 五十ノ



此の如く
 一ノ
 二ノ
 三ノ
 四ノ
 五ノ
 六ノ
 七ノ
 八ノ
 九ノ
 十ノ
 十一ノ
 十二ノ
 十三ノ
 十四ノ
 十五ノ
 十六ノ
 十七ノ
 十八ノ
 十九ノ
 二十ノ
 二十一ノ
 二十二ノ
 二十三ノ
 二十四ノ
 二十五ノ
 二十六ノ
 二十七ノ
 二十八ノ
 二十九ノ
 三十ノ
 三十一ノ
 三十二ノ
 三十三ノ
 三十四ノ
 三十五ノ
 三十六ノ
 三十七ノ
 三十八ノ
 三十九ノ
 四十ノ
 四十一ノ
 四十二ノ
 四十三ノ
 四十四ノ
 四十五ノ
 四十六ノ
 四十七ノ
 四十八ノ
 四十九ノ
 五十ノ



本家
實母散

私方実母さんのお話... 千葉堂孝輔製

鼠祠通夜譚

四編より
八編まで
出板仕り

柳亭種彦作
梅蝶樓國貞画

厚化粧萬年嶋田

初篇より
追々出板
辰春秋とん

爲永春水作
梅蝶樓國貞画

這ハ世の普く沙汰せらるる... 草双紙みろん



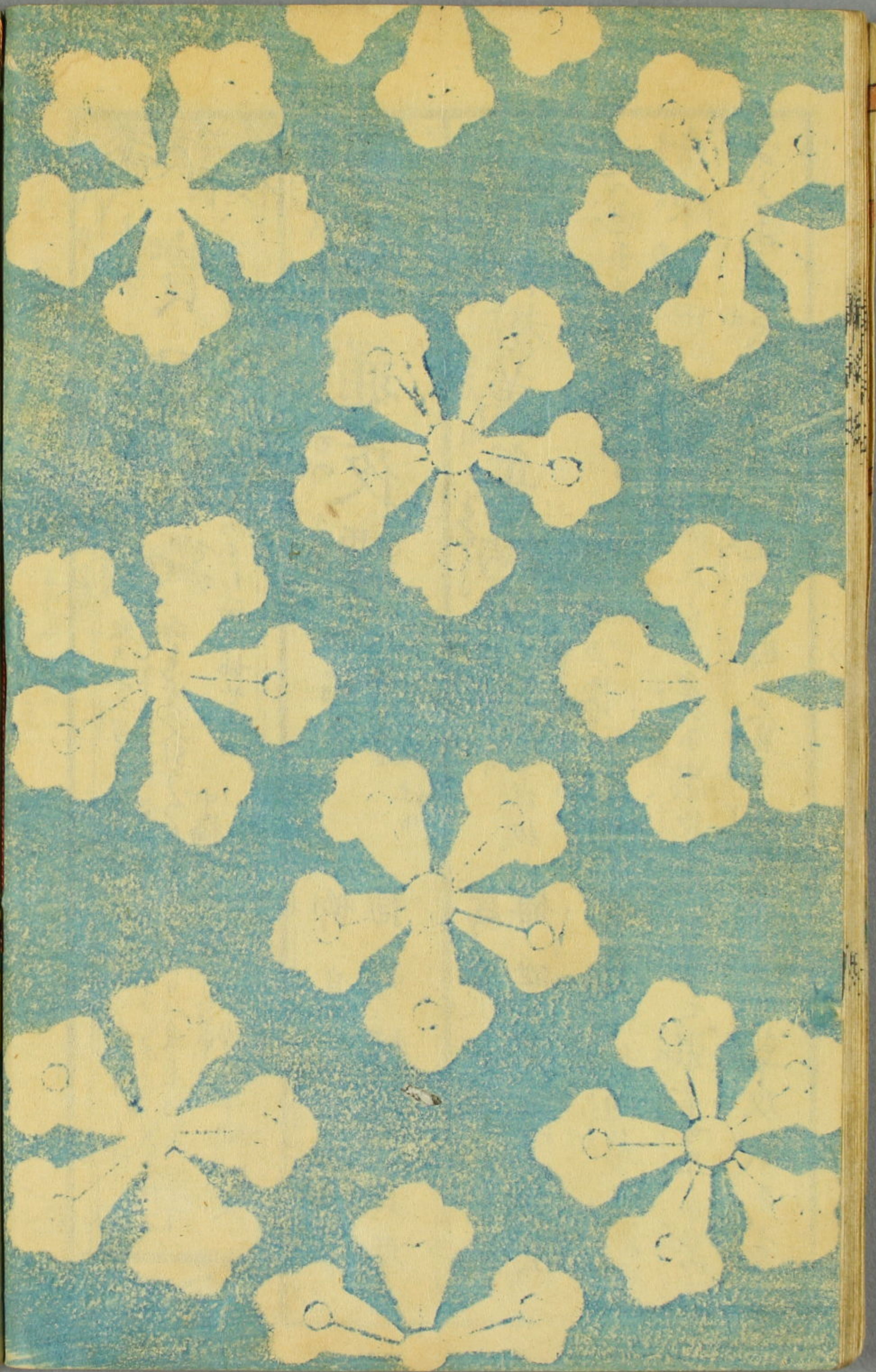
團
貞
画

宝

子

子

五
編
下





鼠寶倉

たすきつゝ

ふにや

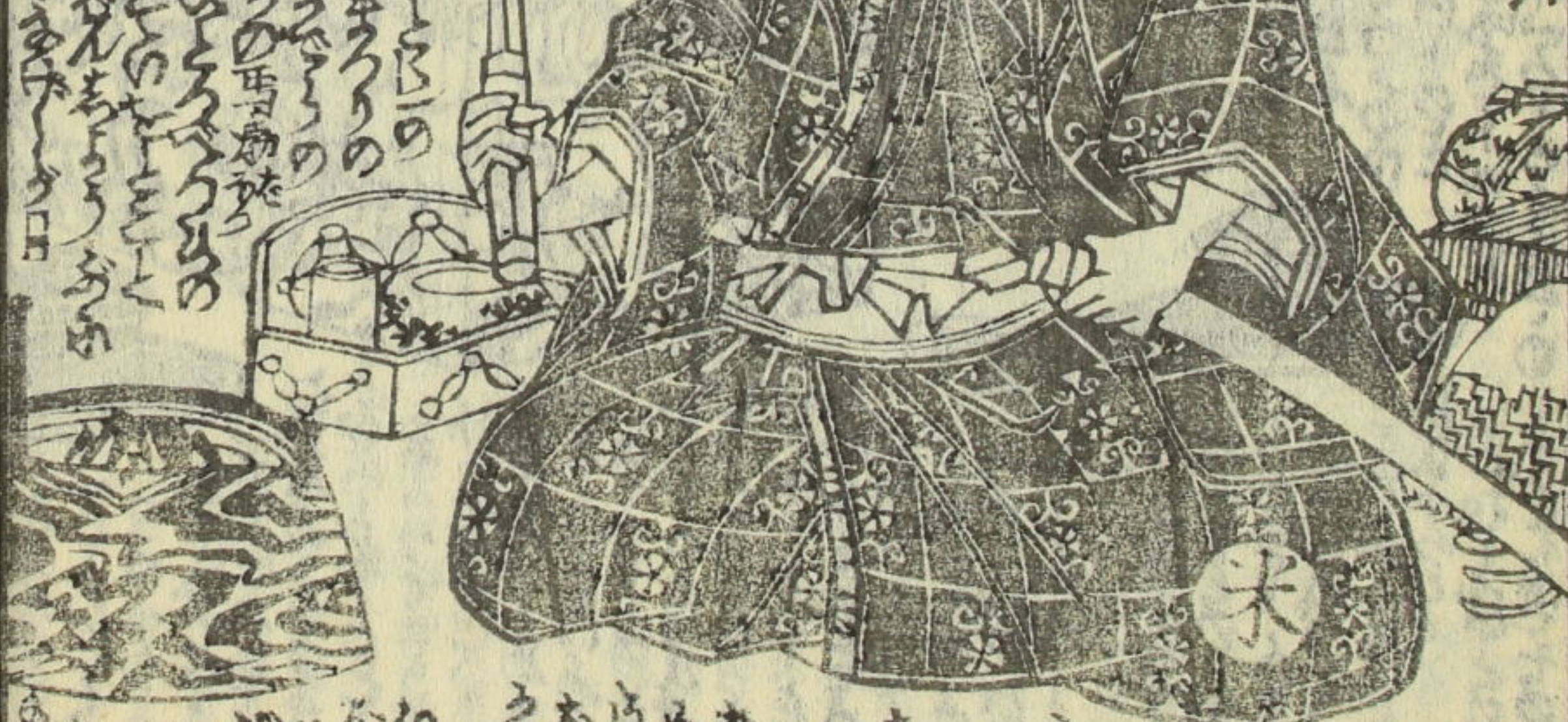
ふにや

五角

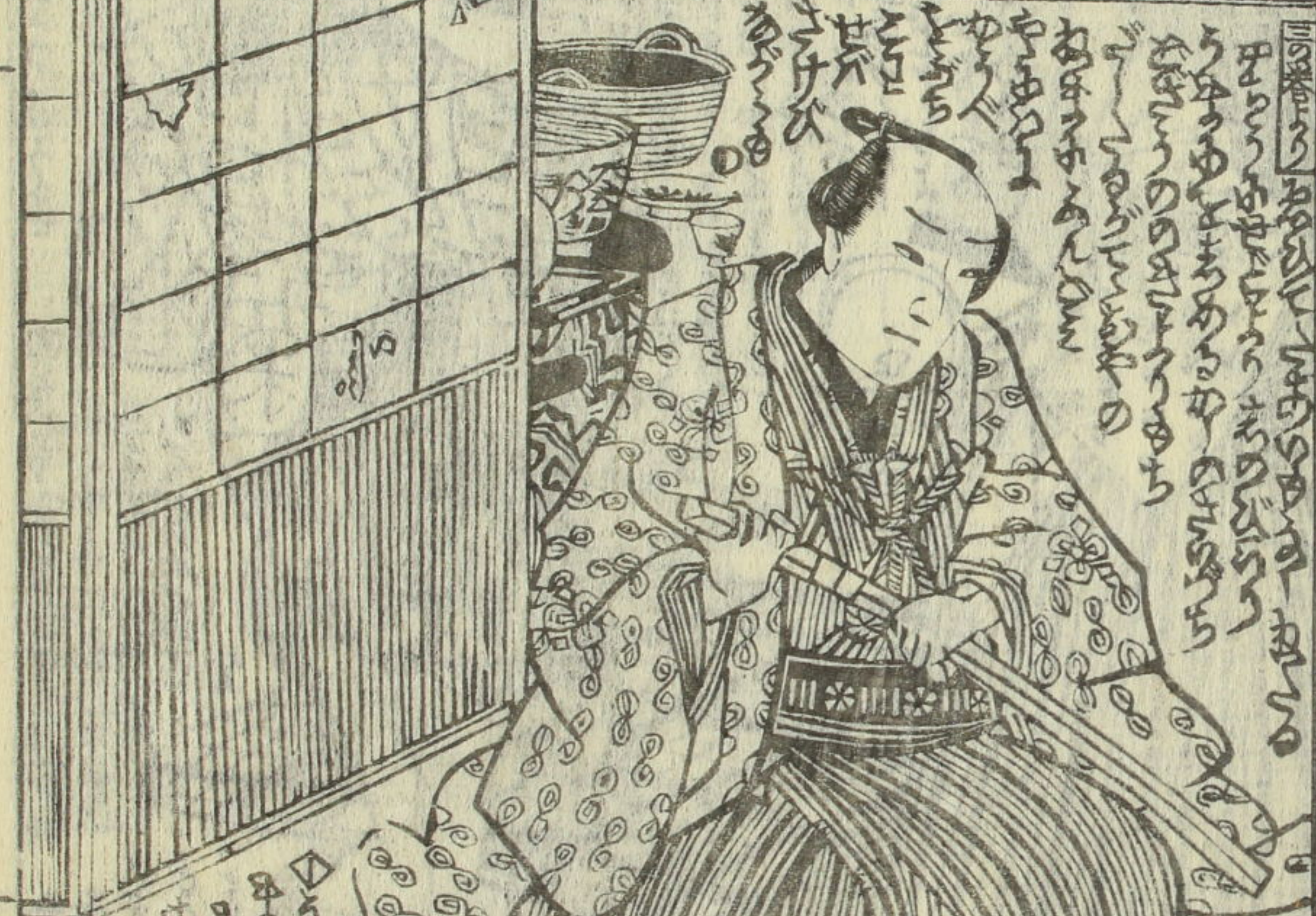
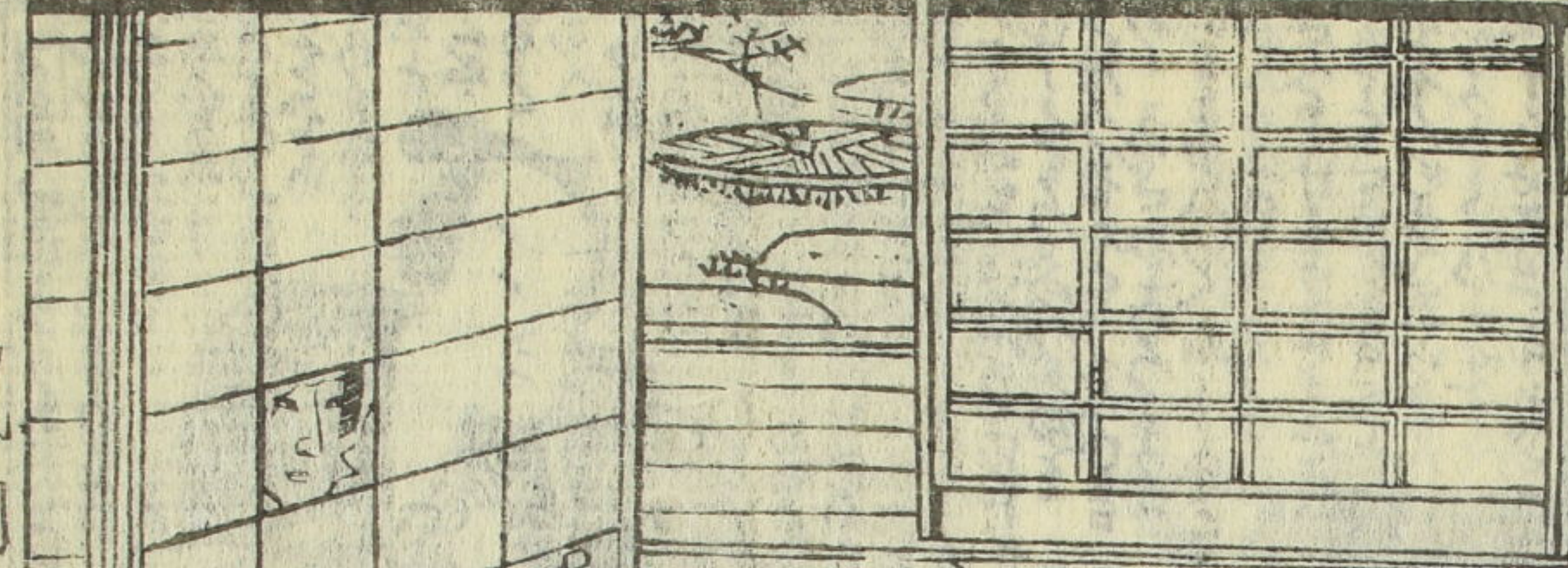
下巻

Handwritten text in the top right corner of the right page, likely a title or introductory text.

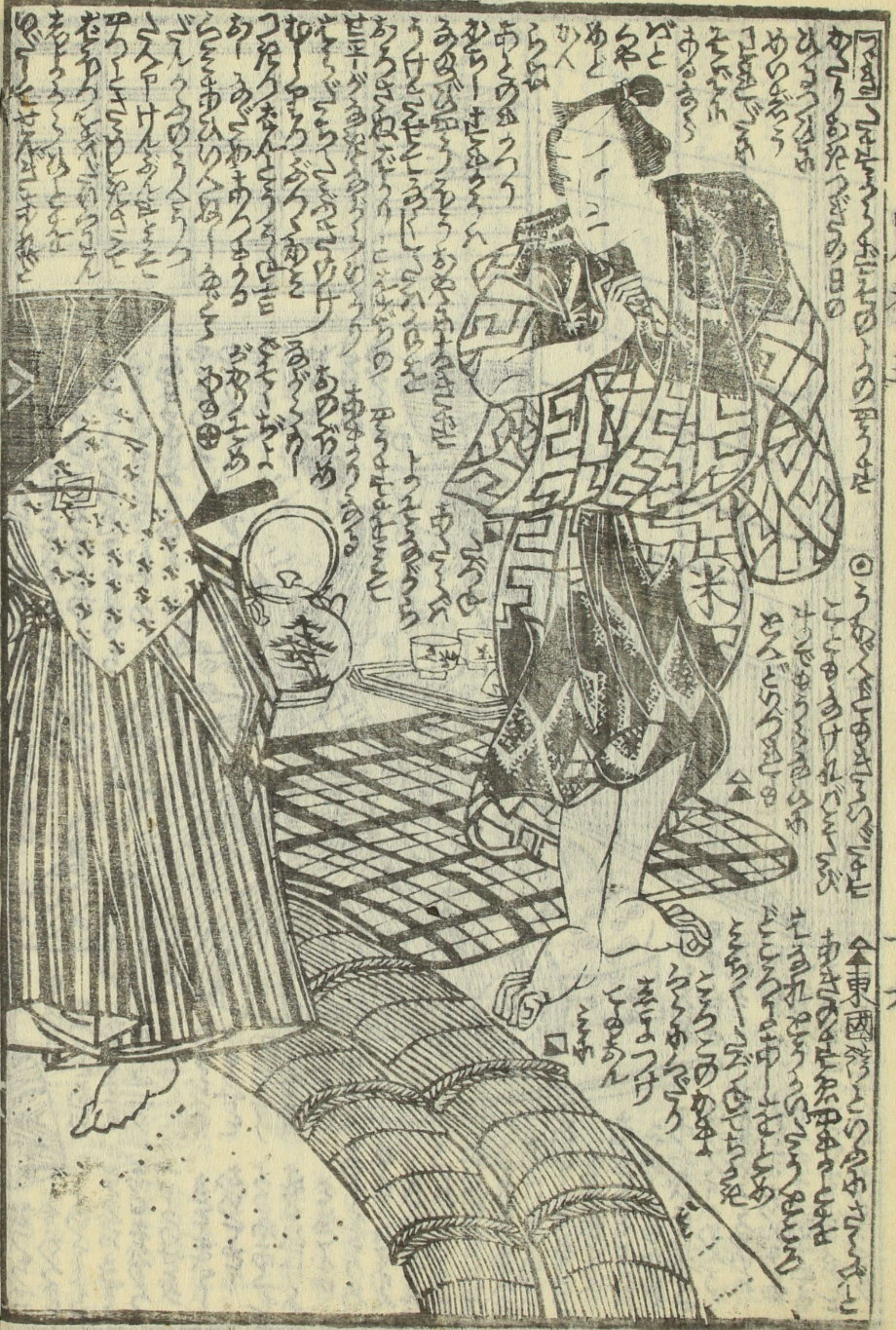
Handwritten text in the top middle section of the right page, surrounding the upper part of the illustration.



Handwritten text in the bottom right corner of the right page, possibly a signature or date.



Handwritten text in the bottom left corner of the left page, possibly a signature or date.



〇この野
 角力溜
 世話人
 見物
 紙上小
 溢るる
 せかりるる
 べんを唯
 三人のそ
 画せしめ
 本意
 〇この野
 角力溜
 世話人
 見物
 紙上小
 溢るる
 せかりるる
 べんを唯
 三人のそ
 画せしめ
 本意

〇この野
 角力溜
 世話人
 見物
 紙上小
 溢るる
 せかりるる
 べんを唯
 三人のそ
 画せしめ
 本意



〇この野
 角力溜
 世話人
 見物
 紙上小
 溢るる
 せかりるる
 べんを唯
 三人のそ
 画せしめ
 本意

〇この野
 角力溜
 世話人
 見物
 紙上小
 溢るる
 せかりるる
 べんを唯
 三人のそ
 画せしめ
 本意





新局九尾傳

七編より 爲永春水作 十一編まで 梅蝶樓國貞画

室町源氏胡蝶卷

十二篇 種彦作 十四篇 國貞画

假名情談戀畦倉

四編 如泉作 大尾 國貞画

童謡妙々車

七二編 種彦作 廿三編 國貞画

薄倂幻日記

十七編 春水作 十九編 國貞画

七巻葛飾譚

九編 種彦作 十一編 國貞画

筆海四國聞書

十二編 種彦作 十三編 國貞画

明鴉墨雨迺福

十三編 種彦作 十四編 國貞画

花封谷玉草

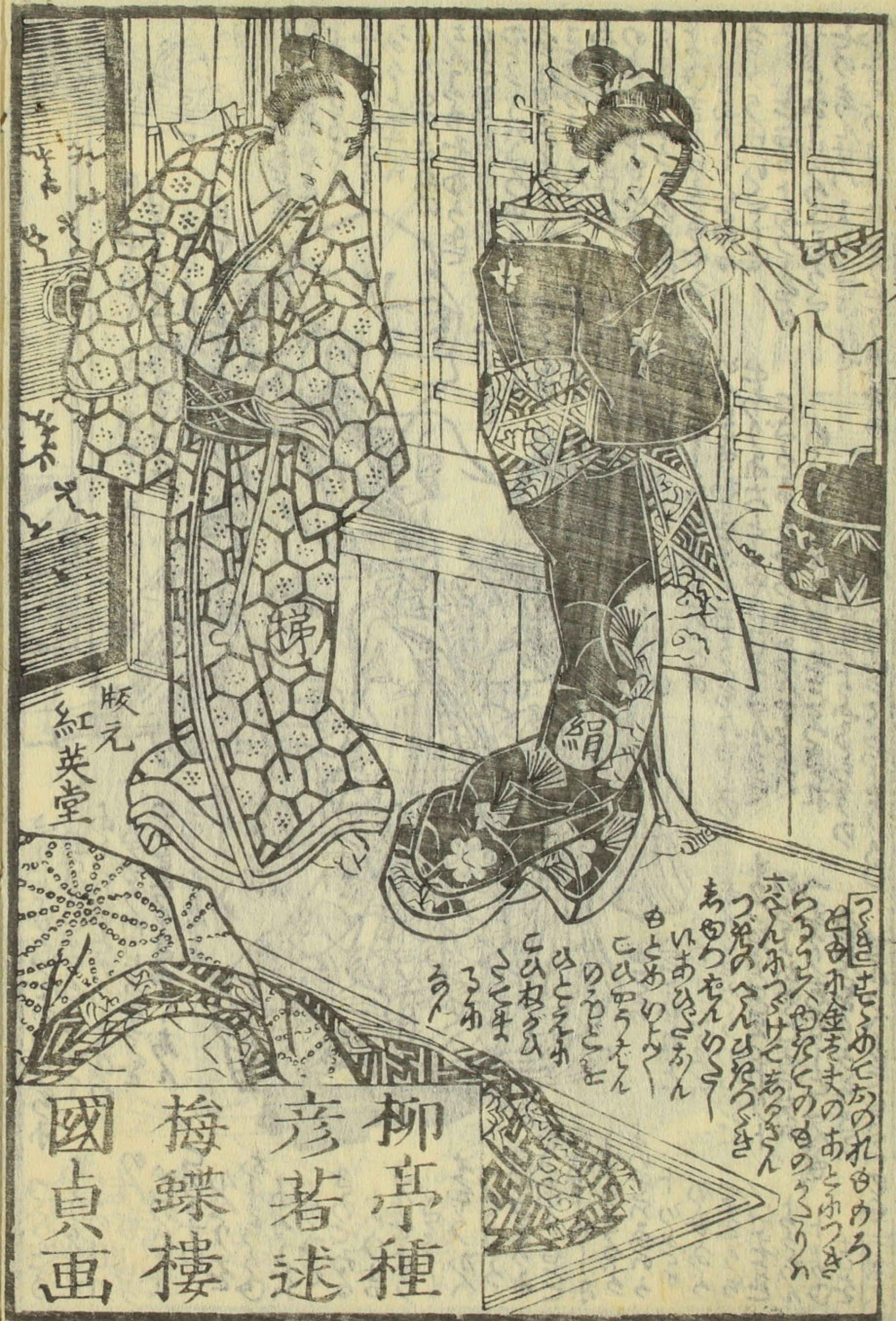
十編 種彦作 大尾 國貞画

尖傳大の双紙

四十九編 柳亭録 五十一編 國政画



南傳馬町壹丁目 葛屋吉藏板



版元 紅英堂

柳亭種彦著述 梅蝶樓國貞画

つぎに... (Small vertical text block containing a dedication or publisher's note.)

